

とくほん ほんはともたち



2025年7月
(No. 39)

やすとしょかん

本館
中主分館

でんわ.077-586-0218 ファクス.077-587-5976
でんわ.077-589-3382

図書館のホームページ

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>



★なつやすみのとしょかんカレンダー★

■ おやすみの日



がっ 7月						
にち 日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

がっ 8月						
にち 日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

図書館の開館時間

【本館】 午前10時～午後6時

【中主分館】 午前10時～午後5時15分



*毎週日曜日に、おはなし会をしています！

8月17日⇒スペシャルおはなし会 午後2時30分から

ほかの日曜日⇒おはなしの森 午前10時30分から



イベント

参加する人は予約してね！

★化石とあそぼう～恐竜とアンモナイトの謎～

7月26日(土) 午後1時15分から

場所：図書館ホール

ほんものの化石を見たり、さわったりできます！

★としょかんクイズにチャレンジ！

8月1日(金)～24日(日)まで

場所：本館 閲覧室

クイズの答えがのっている本をさがそう！全問
正解した人には、すてきなプレゼントがあります。

★アル・プラザ野洲に移動図書館が やってくるよ！

8月15日(金) 午前10時30分～12時まで

場所：アル・プラザ野洲 セントラルコート

たくさんの本がずらっと並びます。

工作会もあるので、遊びにきてね♪

★図書館からのおねがい★

- ①本を大切にしていね
- ②大きな声を出したり、走ったりしないでね
- ③宿題に図書館の本を使うときは閲覧室(本のある部屋)で、使わないときは喫茶コーナー・フリースペースでどうぞ♪

夏休みはぜひ、図書館に来てね！



「夏休みの宿題 応援コーナー」

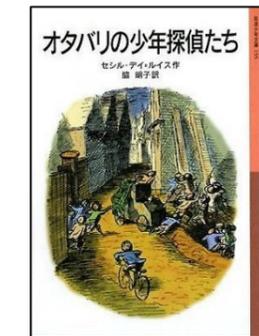
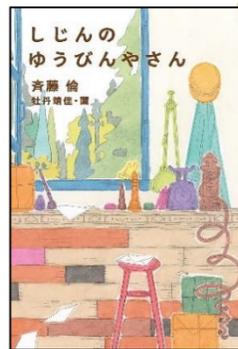
自由研究や工作、作文の書きかたなど、みなさんの

宿題に役立つ本を集めたコーナーがあります。

『しじんのゆうびんやさん』 K913/41

斉藤倫/作 牡丹靖佳/画 (偕成社)

ちいさなまちのちいさな郵便局ではたらくガイトーとトリノス。ある日、いちども手紙をもらったことがないという灯台守のじいさんにガイトーが手紙を書き、トリノスがはいたつすることにします。手紙にはふしぎな詩が書かれていました。



『オタパリの少年探偵たち』 K933/M1

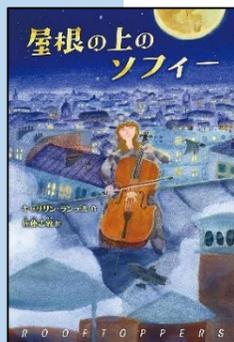
セル・デイ・ルス/作 脇明子/訳 (岩波書店)

戦争ごっこにあけくれる少年たちの物語。みんなでためたお金が、ある日こつぜんと消えてしまいました。犯人をみつけてお金を取りもどそうとするうちに、いつのまにか悪党一味の大犯罪があきらかになっていきます。

『屋根の上のソフィー』 K933/73

キャリン・リンドル/作 佐藤志敦/訳 (岩波書店)

沈没する大型客船からチェロのケースにのせられて助けられた赤ちゃんのソフィーは学者のチャールズにひきとられる。12歳になったソフィーは母の記憶と形見のチェロケースをてがかりに、母をさがすためチャールズとともにパリへ。そこで屋根の上でくらす子どもたちとであう。

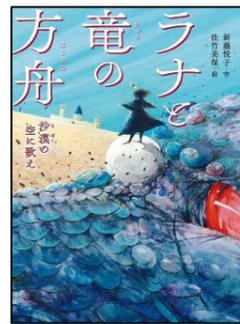


『金色の切手とオードリーの秘密』 K933/74

ワヅヤQ・ワ7/作 久保陽子/訳 (静山社)

パパはいないしママの病気はだんだん悪くなる。ふたごの弟たちの世話も買い物もオードリーの役目。お金も足りなくなってきた。でもこれは外の大人たちにはひみつ。ばれたらママといっしょにくらせなくなる。おまけに向かいの家からスパイがうちをみはっているみたい。なんとかしようとしてオードリーが考えたおどろきの方法とは。

この夏 どのほんよもうかな



『ラナと竜の方舟』 K913/73

新藤悦子/作 佐竹美保/絵 (理論社)

気がつくと、砂漠の中の「蜃気楼の町」にいたラナ。竜が、いのちの危険にさらされている子どもを救い出して連れてきたという。自分も危ないところを助けられたのだろうか？これからどうすればいいのか。

『ツバメ号とアマゾン号』 K933/73

アサー・リンサム/作 神宮輝夫/訳 (岩波書店)

ウォーカー家の4人きょうだいは小さなヨット、ツバメ号をあやつり、子どもたちだけで無人島ですごします。湖を探検したり、アマゾン海賊を名をのるナンシイとペギイの姉妹から挑戦をうけたり…夏休みのぼうけんの物語。★シリーズもあります。



スポーツが好きな人へ



『走れ、セナ!』 香坂直/著 (講談社) K913/70

秋の陸上競技会の100メートル走でリベンジをちかうセナ。だけど2学期になってすぐ、陸上部が突然解散することに。そんなのアリ？どうする、セナ！



『サッカーボーイズ』はらだ みずき/作 (角川書店) K913/87

遼介は6年になって早々、キャプテンをおろされポジションもかえられてしまう。★シリーズもあります。



『ダイブ!!』 森絵都/著 (講談社) K913/81

わずか1.4秒の飛び込みの演技に夢をかける少年たちをえがく。★シリーズもあります。

『空の上には、何があるの?』 E/77 (河出書房新社)

シャーロット・ギラン/文 ヴァル・ゾマー/絵 桑原洋子/訳

空の上にはいったい何があって、どんなおもしろいことがおこっているか考えたことはある？鳥や飛行機よりもっと高く、雲をこえて、ぐんぐん空をのぼって星のまたたく宇宙まで旅しよう。広げると2.5メートルになるしかけ絵本。



ながいおはなしは苦手というひとへ すてきな絵本もあります

『PIHOTEK ピヒュッティ 北極を風と歩く』 E/tt

萩田泰永/文 井上奈奈/絵 (講談社)

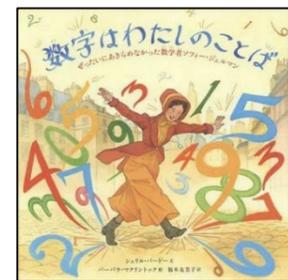
たった一人、北極を歩いている。いのちを支える道具や食料を積んだソリを引きながら、進んでいく。氷のきしむ音が遠くでひびく。ピヒュッティとはイヌイット語で「雪の中を歩いて旅する男」という意味。北極冒険家の一日をえがいた絵本。



『数字はわたしのことば』 K289/73 (ほるぷ出版)

ジェリル・バード/文 バーバラ・マクリツク/絵 福本友美子/訳

女の子が数学を勉強するなんてとんでもないと思われていた、フランス革命のじだい。でも、数学が大好きなソフィーは、ぜったいにあきらめませんでした。天才数学者のほんとうにあったおはなし。



『岸辺のヤービ』 K913/74

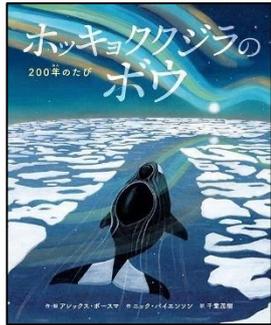
梨木香歩/著 小沢さかえ/絵 (福音館書店)

あの晴れた夏の日、わたしが岸辺で出会ったのは、ふわふわの毛につつまれた、二本足で歩くハリネズミのようなふしぎな生きものでした。驚きと喜びに満ちたファンタジー。マッドガイド・ウォーターシリーズの第1弾。★シリーズ3巻まであります。

でっかいぞ！

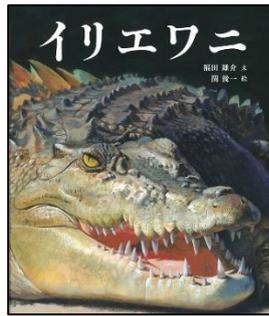
『ホッキョククジラのボウ

200年のたび』 K489 (小学館)
フレックス・ホースマ/作・絵 千葉茂樹/訳



ひろびろとした北極の海に
らすホッキョククジラは、ほ
にゆるいの中で一番長く、
200年も生きるといわれて
います。ホッキョククジラの
女の子ボウの物語。

『イリエワニ』 K487 (福音館書店)
福田雄介/文 関俊一/絵



よろいのようにかたくてぶ厚い
うろこ、全長6メートルにもなる
世界最大のワニ。気性は荒く、
歯は何度でもはえかわり、大き
なサメもかみちぎる野生のイリ
エワニをえがく。

『まぼろしの巨大クラゲをさがして』 E/林

カエ・サバジ/作 よしいかずみ/訳 (B1出版)



クラゲが大好きなモーリー
博士。まだだれも見たこと
がないというまぼろしの巨大
クラゲを探しに、13人の隊員
たちとともに北極海へと
出発しました。毎日ねばりづ
よく調査しますが、なかなか
見つかりません。

『恐竜のあたまの中をのぞいたら -脳科学でさぐる

恐竜の感覚-』大島英太郎/作 (福音館書店) E/桂



ぼくのおじさんは、恐竜の研究を
している。あたまの骨から、恐竜
がどんなふうにもわりを見たり、音
をきいたり、においをかいだりして
いたかをしらべているんだって。脳
のかたちや、はたらきをさぐる方法
もおしえてもらう。

みてみよう しらべてみよう

宿題にもやくだつ！

『ずかん石積み』 K511 (技術評論社)

ニシエ芸石積み研究会/著

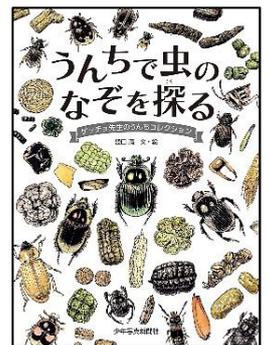
お城の壁や田畑、町中에서도見
かける石積み。昔から石はいろ
いろなところに使われてきました。
さまざまな石積みを写真や図でし
ょうかい。初めての人でもでき
る、いろいろな石積みのやりかた
もくわしく書いています。



『うんちで虫のなぞを探る』 盛口満/文・絵

(少年写真新聞社) K486

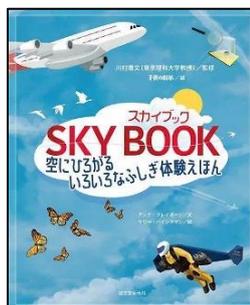
虫のうんちは形も大きさもいろ
いろ。うんちをえさにする、自分
のうんちに隠れてくらす、動物の
うんちに卵をうむ…。うんちを
利用して世界中に広がった、虫
の不思議についてかいていま
す。



『スカイブック～空にひろがるいろいろなふしぎ
体験えほん』 アンナ・クレイブソン/文 ケー・ハインドマン/絵

江原健/訳 (誠文堂新光社) K440

空は、科学の入り口。空はなぜ
青いの？あらしは太陽のおか
げ？いつでもそこにある空のふ
しぎに目をむければ、科学の目
で見る力がつきます。すぐでき
る実験やかんさつも紹介。



『実験でわかる科学のなぜ?』 K407 (誠文堂新光社)

コリン・スチュアート/著 川村康文/訳 ガリレオ工房/監修

人のからだ、目にみえない
重力、磁石のまほう、光のふし
ぎ、夜空の星、これまでの科学
の研究でわかったことを、かん
たんにできる実験やクイズとと
もにイラストで楽しく紹介。

